

平成25年度 事業報告

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

<事業の概況>

平成25年度より盛岡地域地場産業振興センターは、盛岡地域の地場産業の育成と強化を図り、公正かつ自由な経済活動の機会の確保と地域住民の生活安定向上及び福祉の増進を目的とした公益財団法人に生まれ変わりました。公益財団法人としての初年度は盛岡地域の地場産品を県内外で開催された物産展等のほか、インターネットショップを活用し全国的に紹介宣伝しながら普及啓発を図ったほか、消費者から得た情報を地場産業事業者へフィードバックし商品改良や開発等に寄与しました。更には展示資料室での特別企画展や体験学習の滞在型メニューの検討や意欲ある若手の職人を育成するための指導を行ないました。

また、公益財団法人運営に必要な収益を得るため、施設の貸し出し料金を20%増額したほか、アロニア商品の販売拡大、盛岡地域外商品の積極的な販売等を実施しました。

その他、行政関係から各種の地場産業の普及や啓発に関する事業を受託し、幅広く宣伝紹介をし、公益事業との連携を図りました。

1. 地場産業振興事業（公益目的事業）

盛岡広域生活圏内の地場産業振興のため、地場産品の普及啓蒙を図る地場産品紹介普及啓蒙事業、芸術的工芸品の振興を図り、後継者の確保へと結びつけていくことを目的とする体験学習事業、盛岡地域地場産業への理解向上と今後の地場産業振興発展を目的とする展示資料室運営事業等を公益事業として積極的に推進し、盛岡地域内の地場産業の振興を図った。

ア 地場産品紹介普及啓蒙事業

盛岡地域の地場企業に対して、公募によって申請のあった地場産品について関係機関で組織する選考委員会において選考を行い、事業目的を達成するため、次の場所で国指定の伝統的工芸品や民芸品、食品等の地場産品の紹介を行い、広く普及啓発を図ったほか、消費者ニーズやPOS データ等に基づく販売動向情報等の収集・フィードバックを行う情報の受発信による事業者支援を図り事業者の商品改良や新商品開発等を支援した。

① 振興センター展示即売室

- ・各出展業者に対し、毎月 POS システムの情報をもとに売れ筋情報等の提供を行って、即売室内の商品構成や小間の見直しを行うなど充実を図った。
- ・季節ごとに展示即売室のディスプレイを見直し、変化のある売場作りを目指した。
- ・中元及び歳暮の時期に、即売室内にギフトコーナーを設けるとともに、季節のギフトカタログを作成してセールスを行い、販売促進に努めた。
- ・即売室内に「イベントスペース」を2箇所設け、ミニ催事を開催した。
- ・「修学旅行お土産ランキング」や「新商品の紹介コーナー」を設置し、話題性のある売り場づくりを目指した。
- ・消費者ニーズを捉え、新しい商品を開拓し、消費者に向け商品の PR を行った。
- ・積極的に試食販売を行って商品を PR し、地場製品の普及に努めた。
- ・振興センターのロビーを活用し、積極的な販売を行った。
- ・バーチャル「盛岡市産業まつり」(<http://www.rakuten.co.jp/morioka/>) を運営して全国に幅広く地場製品を紹介した。
- ・お買い上げ感謝抽選会の開催
- ・旅行エージェントに対してショッピング手数料を導入し、大口ツアーの誘致に努めた。

<展示即売室の利用状況>

- ・利用者数 92,714 人
- ・利用率 20%

② 県内外で行われる見本市や物産展などの催事

- ・首都圏ほか県内外で、地場産センターや自治体等が主催する物産展等に参加出展した。

<全国センターにおける販売>

- ・三重北勢地域地場産業振興センター（売上 286,990 円）
期間：平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
- ・丹後地域地場産業振興センター（売上 10,000 円）
期間：平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
- ・今治地域地場産業振興センター（売上 152,950 円）
期間：平成 25 年 10 月 13 日～14 日
- ・備後地域地場産業振興センター（売上 36,150 円）
期間：平成 25 年 10 月 27 日～28 日
- ・堺市産業振興センター（売上 950,000 円）
期間：平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

- ・山口防府工芸地域地場産業振興センター（売上 143,350 円）
期間：平成 25 年 11 月 10 日～11 日
- ・桐生地場産業振興センター（売上 29,758 円）
期間：平成 25 年 12 月 14 日～15 日
- ・上和泉地場産業振興センター（売上 63,460 円）
期間：平成 25 年 10 月 11 日
- ・ハーベストの丘 農産物直売所（売上 800,000 円）
期間：平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

< 県内物産展等出展 >

- ・岩電展示即売会（売上 219,941 円）
期間：平成 25 年 4 月 21 日～22 日
会場：盛岡地区勤労者共同福祉センター
- ・第 28 回岩手県保健推進委員等代表者協議会総会（売上 374,660 円）
期間：平成 25 年 6 月 12 日
会場：盛岡市都南文化会館キャラホール
- ・岩電セレクション 2013 秋（売上 229,471 円）
期間：平成 25 年 9 月 28 日～29 日
会場：盛岡地区勤労者共同福祉センター
- ・国体スポーツフェスタ（北上）（売上 107,600 円）
期間：平成 25 年 10 月 19 日
会場：北上運動公園
- ・イオン盛岡ギフトコーナー（売上 1,633,939 円）
期間：平成 25 年 11 月～12 月
会場：イオン盛岡店

< 県外物産展等出展 >

- ・「復興支援フェア」（売上 1,163,206 円）
期間：平成 25 年 9 月 28 日～12 月 3 日
会場：滋賀県 道の駅藤樹の里あどがわ
- ・文化祭バザー（売上 133,856 円）
期間：平成 25 年 9 月・平成 26 年 2 月
会場：福山暁の星女子中学・高等学校
- ・第 16 回みちのく YOSAKOI まつり（売上 154,510 円）
期間：平成 25 年 10 月 12 日～13 日

会場：仙台市錦町公園

<盛岡市等主催催事への出展>

- ・盛岡デー・イン・東京イオン板橋店会場（売上 4,374,084 円）
会場：東京都 イオン板橋店
会期：平成 25 年 7 月 12 日～15 日
- ・啄木学級「文の京講座」（売上 28,500 円）
会場：東京都 文京シビックセンター
会期：平成 25 年 7 月
- ・中核市フェア（売上 59,200 円）
会場：東京都庁
会期：平成 25 年 6 月 20 日～26 日
- ・東北六魂祭（売上 1,249,400 円）
会場：福島県
会期：平成 25 年 6 月 1 日～2 日
- ・盛岡市産業まつり（売上 144,540 円）
会場：パルクアベニュー川徳
会期：平成 25 年 10 月 18 日～24 日
- ・文京博覧会（売上 158,020 円）
会場：東京都 文京シビックセンター
会期：平成 25 年 10 月
- ・盛岡の名品と観光展（売上 689,594 円）
会場：神奈川県 藤沢さいか屋
会期：平成 25 年 11 月 20 日～26 日
- ・盛岡・うるま友好の翼 うるま祭（売上 387,990 円）
会場：沖縄県うるま市
会期：平成 25 年 12 月 14 日～15 日
- ・盛岡特産品ブランド「盛岡りんごフェア」（売上 397,705 円）
会場：東京都 いわて銀河プラザ
会期：平成 25 年 11 月 28 日～11 月 30 日
- ・東京都庁全国観光イベント（売上 2,067,146 円）
会場：東京都庁
会期：平成 25 年 12 月 11 日～17 日
- ・みちのく盛岡の名品と観光展（売上 1,630,000 円）
会場：北海道 さっぽろ東急百貨店

会期：平成 26 年 1 月 10 日～16 日

- ・イオン琉球「いわて盛岡デー・イン沖縄」（売上 1,357,500 円）

会場：イオン那覇店・南風原店・具志川店

会期：平成 26 年 2 月 20 日～23 日

<アンテナショップ等における販売>

- ・もりおか啄木・賢治青春館

出品物：鉄器・木工・陶器・駄菓子

- ・つなぎ温泉観光協会

出品物：染物・木工・漆器・煎餅・駄菓子・漬物

- ・もりおか歴史文化館

出品物：木工・染物・煎餅・麺類

- ・道の駅にしね

出品物：アロニア製品

<インターネット「楽天市場」バーチャル産業まつり>

期 間：平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

出品物：食品・民芸品等 450 アイテム

<記念品・特注品受注>

- ・盛岡市関係、その他

イ 体験学習事業

体験学習を通じ盛岡地域の文化や芸術の振興や後継者育成を図ることを目的として実施している市民を対象に定着したお菓子づくり教室や、郷土料理教室等の講座などの事業を継続すると共に、個人客のニーズを捉えた手軽なモノづくり講習会を継続して企画・開催した。

手づくり教室に関しては、修学旅行をはじめとした教育旅行誘致活動として北海道道南・道央地区、東京都での教育旅行誘致説明会に参加して誘致活動を行ったほか、宮城地区教育旅行での継続的利用についても積極的な働きかけを行った。

また、夏休みや冬休み期間中に訪れる県内外の利用者に対して、ものづくりの楽しさや大切さを伝えるため、特別メニューを充実させるとともに、告知用のチラシを近隣市町村の小学校に配布する等の PR 活動を行った。

- ・手づくり教室の開催（通年）

陶器、染物、竹細工、わら細工、木工玩具、はたおり、こけし絵付、こま絵付け、陶器絵付、リース、盛岡冷麺（11 種類・24 コース）

- ・団体体験学習の動向の把握及び旅行代理店、学校等を対象とした誘致PR活動のため、岩手県等が主催する教育旅行誘致説明会に参加した。(札幌・函館・東京の3会場)
- ・宮城県内の旅行代理店、小・中学校への継続利用のセールス活動を行った。
- ・修学旅行の下見に来る学校、団体等の確実な来場確保に努めた。
- ・夏休み、冬休みにおける期間限定の特別体験教室メニューの充実を図るとともに、体験メニューのチラシを盛岡広域内の小学校に配布した。
- ・手づくり講座の開催
韓国料理教室、郷土料理教室、健康料理講座など、市民向け講座を数多く開催した。

ウ 展示資料室運営事業

盛岡地域地場産業への理解向上と今後の地場産業振興発展を目的として、全国から訪れる来場者に対して歴史や製造工程、制作者等をDVDやパネルで紹介するほか、芸術的作品の展示を行なった。

展示資料室はリーフレット等の印刷物に掲載・配付すると共にホームページ上での掲載等の方法により広く社会一般に公表した。

- ・展示品を通じて、全国から訪れる観光客に地場製品の生産過程や特徴を示して、地場産業文化と芸術的工芸品への理解と地場製品の普及宣伝に努めた。
- ・ツアーで来場する大型団体の入場誘致を図り、県内外の多くの観光客へ地場産業のPRを行った。
- ・地場製品への理解を深めてもらうことを目的に、工房と共催で企画展「和の文化 藍染展」を開催した。

(藍染めに使用する道具、関係資料や製作風景を写真パネルで展示)

開催期間 平成26年3月7日～23日

入場者数 556人

2. 人材育成事業（公益目的事業）

意欲ある地域内事業所や若手職人を対象にした人材育成支援要望を募集し、選ばれた応募者に対し、市場開拓や商品開発等に精通したセンター職員が指導にあたった。

【育成対象】

ゴウちゃんのコロッケ屋 代表 野村豪

【実施内容】

- ・指導対象商品 アロニアを使ったコロッケ専用ソースの開発
- ・指導内容 共同開発者として宮田醤油店を紹介しアロニア粉末の使用割合に関する試作、指導を経て「GOGO ソース」の販売に至った。

3. 施設賃貸事業（収益事業）

南部鉄器協同組合、レストラン、自動販売機業者及びホームページでの PR 等により一般の方々への施設賃貸を行い、センター運営に必要な収益の一部とした。

【実施内容】

- ・南部鉄器協同組合施設賃貸（12ヶ月）
- ・レストラン大樹施設賃貸（12ヶ月）
 - ・レストラン利用者数 13,360人
 - ・レストラン利用率 2.9%
- ・自動販売機の設置（10台）
- ・会議室等の貸し出し（40件）
（なお、25年度より利用料金20%値上げを実施）

4. 販売促進事業（収益事業）

展示即売室内に地域外商品の販売スペースを設置し収益性の高い商品の販売並びに PB 商品であるアロニア関連商品の販売を行い収益の拡大を図った。

更には有名菓子店への喫茶コーナー貸し出しを行い、店舗展開による収益増収を図った。

- ① 展示即売室地域外商品販売スペースの設置等
 - ・地域外商品出展業者・喫茶コーナー 計40業者（売上 79,232,501円）
- ② アロニア関連商品開発事業
 - ・盛岡市東部産アロニアの買い付け 約1,065kg
 - ・アロニアの需要増大に向けたセールス活動
 - ・アロニア関連商品の売上（3,957,436円）

5. 共用施設維持管理事業（その他の事業）

盛岡手づくり村を構成する、盛岡市、盛岡地域地場産業振興センター、協同組合盛岡手づくり村の三者において共有する施設の維持管理を行った。

- ・共用施設維持管理事業費 7,483,898円（植栽・清掃・電気・除雪等の維持管理）

6. 南部曲り家地場産品 PR 事業（その他の事業）

全国から訪れる観光客に対し、地場産業文化への理解を得ることを目的とし工芸品

の製作実演や地位に古くから伝わる伝統行事等を企画実施した。

- ・ 工芸品の製作実演（5月、8月、10月）
（伝統こけし、金網細工、繭細工、トンボ玉等）
- ・ 昔語りの開催（5月～11月 月2回程度）
- ・ 南部曲り家地場産品 PR 事業費 704,758円

7. 地場産業普及啓発事業（その他の事業）

盛岡地域の地場産業並びに職人が製作する工芸作品や伝統的地場食品等を一般社会に幅広く普及啓発を図ることを目的として、行政関係より下記の事業を受託した。

ア 地場産業振興研究事業（岩手県委託事業）

岩手県盛岡広域振興局の委託を受け、盛岡地域で活動する工芸家グループの育成や起業化を図るため、東京都新宿区のリビングセンターOZONE内 monova ギャラリーにおいて常設展並びに企画展を開催した。

- ・ monova ギャラリー常設展（平成25年4月～26年3月）
- ・ monova ギャラリー企画展「楽 raku 展」の開催

【展示内容】

- [参考出展] 南部アコースティックギター（タカミネ楽器とのコラボ）
- [参考出展] ギター関連グッズ（南部鉄ピック・裂き織ストラップ etc）
- 炭の里岩手から 心あたたまる手染め 南部炭染（洋服・ストール②・小物 etc）
- 昔から伝わる裂き織を現代風に redesign
- 鉄と漆のある生活（南部鉄の盃・南部鉄プレート etc）

会期：2013年11月28日（木）～12月10日（火）10:30 - 19:00

会場：monova gallery 東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE4階 monova ショールーム

イ 盛岡特産品ブランド認証委員会運営事業（盛岡市委託事業）

盛岡特産品ブランド認証プロジェクトの要となる盛岡特産品ブランド認証制の運営を受託し、物産展等への出展による認証商品の PR や販売促進に取り組んだほか、認証対象業界に対する認証制度の周知や認証委員会による商品のブランド認定を行った。

- ① 盛岡特産品ブランド認証申請募集～認証委員会による認証
- ② 盛岡特産品ブランド認証商品の広告宣伝 パンフレット2,000部
- ③ 販売促進催事の企画並びに出展
 - ・ 盛岡デー・イン東京

会場：東京都 イオン板橋店

会期：平成 25 年 7 月 12 日（水）～15 日（日）

- ・いわて盛岡デー・イン沖縄

会場：沖縄県内 イオン那覇店・具志川店 他系列店

会期：平成 26 年 2 月 20 日（木）～23 日（日）

- ・盛岡りんごフェア

会場：東京都 いわて銀河プラザ

会期：平成 25 年 11 月 28 日（金）～30 日（日）

ウ 震災対応分野雇用創出事業「盛岡元気フェア」（盛岡市委託事業）

盛岡地場産業の活性化と盛岡の元気をアピールするために、首都圏等において地場産品を紹介する盛岡元気フェアを開催し積極的に P R したほか、県内で開催された全国大会イベントや物産展に参加し積極的に地場産品の P R に努めました。

- ・銀河プラザ（売上 1,110,276 円）

期間：平成 25 年 6 月 30 日～7 月 6 日

会場：いわて銀河プラザ

- ・世田谷ふるさと区民まつり（売上 650,000 円）

期間：平成 25 年 8 月 4 日～8 月 5 日

会場：世田谷馬事公園

- ・銀河プラザ（売上 881,805 円）

期間：平成 25 年 9 月 14 日～17 日

会場：いわて銀河プラザ

- ・川口駅前モリハチまつり（売上 461,320 円）

期間：平成 25 年 11 月 23 日～24 日

会場：川口駅前

- ・いわて S-1 スイーツフェア（売上 123,600 円）

期間：平成 26 年 2 月 22～23 日

会場：岩手産業文化センター・アピオ

8. 交流促進事業

盛岡手づくり村への集客と地域住民との交流を図ることを目的に、季節イベントを開催するとともに、他団体主催のイベントを支援して、地場産品の紹介宣伝を行った。

ア 交流促進事業

* 季節イベント、日曜、祝日イベント等の開催

- ・ 盛岡手づくり村スプリングフェスティバル（5月3日～6日）
- ・ 盛岡手づくり村チャグチャグ馬コ記念行事（6月9日）
- ・ 盛岡手づくり村サマーフェスティバル（8月13日～15日）
- ・ 盛岡手づくり村お正月特別営業催事（平成26年1月2日～3日）
- ・ 盛岡手づくり村ウィンターフェア（平成26年2月8日～9日）
- ・ 盛岡手づくり村節句行事（平成26年3月2日）

* 関連業界、団体等の催事利用の推進、支援

- ・ 盛岡手づくり村工房まつり（9月21日～23日）
- ・ その他市町村・関係団体の催事

イ 地場産業対策事業（盛岡市助成事業）

盛岡地域の農・畜産物や加工食品等の食材を広く PR するために、郷土料理の屋台を一堂に集め、「いわてもりおか食文化フェア」を開催した。

- ・ いわてもりおか食文化フェア 2014 の開催（10月12日～14日）

9. 管理運営事業

振興センターは、盛岡地域の地場産業振興及び観光拠点施設として、県内外等からの来場者に利用されている。本年度も、環境整備や施設維持管理、食堂の運営による来場客へのサービス、各施設及び機能の充実を図った他、台湾・韓国・中国に対応する外国語パンフレットの配付による外国人観光客誘致を積極的に実施した。その他、通年で来場者へのアンケート調査を実施し、ニーズを把握するなど、事業の円滑な推進に努めた他、小岩井農場・つなぎ温泉・盛岡手づくり村の三施設連携事業「ワイワイ手つなぎプロジェクト」への参画や、周辺施設との連携協調に努めた。

また、全国地場産業振興センター協議会の東北ブロック幹事センターとして全国の地場産業振興センターと情報交換を図るとともに、地場産業振興センターの育成並びに中小企業振興策等について国、県に対して統一陳情、要望等を行った。

更には盛岡地域の地場産業振興拠点施設、観光施設としての機能並びに振興センター運営の充実を図るとともに、周辺施設との連携やエージェントへの PR など、ソフトやハードの面で強化を図り、来場者の誘致と利便性の向上に努めた。

（1）振興センター入場者への宣伝・紹介

センター入場者数・・・ 463,938 人（対前年比 96.2%）

- ・ 入場者等への案内・説明・誘致宣伝活動

- ・ 観光客、視察来訪客への案内・説明
- ・ 台湾語・韓国語・中国語のパンフレットの配付
- ・ 旅行代理店との提携による入場者の誘致、及びパンフレット等送付
- ・ 外国人客へのパンフレット配布
- ・ マスメディア利用による宣伝・普及活動
- ・ 新聞、雑誌、ラジオ、テレビ等への広告、情報の提供及び取材協力

(2) 理事会・評議員会の開催

| 開催年月日 | 場所 | 会議名 | 会議内容 |
|------------|---------------------|---------|--|
| 平成25年5月13日 | 盛岡市役所別館 4階403会議室 | 第1回理事会 | 平成25年度事業計画・予算、平成24年度事業報告・決算、新公益法人関連決議他 |
| 平成25年5月28日 | 盛岡市役所別館 4階403会議室 | 第1評議員会 | 平成24年度事業報告・決算、新公益法人関連決議他 |
| 平成25年5月28日 | 書面評決 | 臨時理事会 | 専務理事の選出の同意 |
| 平成26年3月25日 | 盛岡市役所別館 4階403会議室 | 第2回理事会 | 平成25年度補正予算 平成26年度事業計画、予算等 |
| 平成26年3月28日 | 盛岡市役所別館 4階403会議室 | 第2回評議員会 | 平成25年度補正予算 平成26年度事業計画、予算等 |

(3) 各施設利用案内、パンフ作成配付等

国内外からの来場者やエージェントに対し、パンフ並びにホームページによる各施設の利用案内を行った。

(4) 環境整備、施設維持管理

来場者に施設の満足度を高めていただくため手づくり花壇の運営やハンギングバスケットの設置など環境整備に努めた他、施設内の清掃や冷暖房管理などの施設維持管理に努めた。

(5) 来場者アンケート調査の実施

来場者に愛される手づくり村にするため、常時アンケートコーナーを設置し、その意見、要望等を収集し、より良い施設づくりの一助とした。

(6) 小岩井農場、つなぎ温泉、手づくり村連携事業「ワイワイ手つなぎプロジェクト」への参画

観光客の誘致を図るため、小岩井農場・つなぎ温泉・手づくり村が連携して進めている小岩井農場・つなぎ温泉・手づくり村連携事業「ワイワイ手つなぎプロジェクト」に参画した。

(7) 全国地場産業振興センター協議会関係

総会への出席

- ・日 時 : 平成 25 年 7 月 25 日 (木)
- ・会 場 : 但馬地域地場産業振興センター (兵庫県豊岡市)
- ・議事内容 : 平成 24 年度事業報告・収支決算
平成 25 年度事業計画・収支予算等
次期役員を選任
次期総会開催地の決定等

(8) その他

- ・施設内の清掃活動を実施した。
- ・施設周辺の植栽整備を実施した。

10. 事業報告の付属明細書

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。